

## 【別紙 1】

# 学校再開時の児童生徒への指導の留意点【狭山市版】

3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人々が密集、近距離での会話や発声）が同時に重なる場を可能な限り避けるとともに、1つ1つの条件が発生しないよう配慮することが必要です。なお、以下に示した内容は、狭山市としての基本的な指導事項とします。すでに児童生徒の安全確保のために十分な感染拡大防止対策が取られている場合には、各学校の安全対策を優先することを妨げるものではありません。

### ◆ この文書中では

- ・ 消毒液…次亜塩素酸水→教育総務から配布されたものまたは東亜ディーケーケーからいただいたもの
- ・ うすめた漂白剤…次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤（キッチンハイターなど）を0.05%程度に薄めた

もの→500mlの水にペットボトルのキャップ1杯分の漂白剤を入れたもの

### <保護者と連携した健康管理の徹底>

○ 登校前の健康観察カードを活用した朝夕の検温、健康観察の徹底、必要事項の記入、提出及び、同居家族の体調管理の徹底にも協力を依頼する。

○ 体調不良（発熱、咳等の風邪症状、倦怠感がある場合）の場合、登校させないよう協力を依頼する。その場合の自宅休養は、欠席ではなく「出席停止」となることを周知する。

◆狭山市としては、感染拡大防止を一層進めるため、より慎重を期して37.0度以上は発熱があるとしている。平熱が37.0度近くある児童生徒については、個別に学校医との相談により、その児童生徒が健康であると判断できる場合はこの限りではない。

◆登校時には、非接触型の体温計を活用して児童生徒の体温を測定する等して、健康状態の把握と体調不良者を早めに発見することで学校内での感染拡大防止対策を一層進める。

### <マスク着用>

○ 登下校中や校内では、飛沫防止の観点からマスクの着用を指導する。

### <咳エチケット>

○ マスクをせずに咳をするときは、袖やハンカチで口を覆うこと、人のいない方に顔を向けることを指導する。意図的に咳を顔にかけるなどの悪ふざけは、トラブルになる可能性が高いので、学校であらかじめ指導するとともに、家庭での指導も依頼する。

### <手洗い>

- 外から教室等に入る時やトイレの後、給食（昼食）の前後など、こまめに手を洗うよう、声をかける。
- 手洗いの際は、指や爪の間も石けんを使用し、しっかりと洗う習慣を身につけさせる。肌の弱い児童生徒も、流水で 20 秒程度洗うことで、多くのウイルスを洗い流すことができる。  
♪ 「パプリカ」のさびの部分で歌うと、おおよそ 20 秒です。「心の中で、パプリカ歌おう」などの呼びかけも効果的です。
- 手を拭くハンカチやタオルは個人持ちとし、共用しないよう指導する。ハンカチやタオルを必ず持ってくるよう、家庭への協力を依頼する。
- 手洗い場に、手洗いの方法についての掲示を行う。

### <「3つの密」を避ける>

- ① 換気の悪い密閉空間をつくらない
    - 換気は、気候上可能な限り常時、可能であれば2方向の窓を同時に開ける。
      - ◇ 5・6年生の家庭科教科書に効果的な換気についての記述があるので、参考とする。
      - ◇ 風が強いときでも、風上の窓は小さく、風下の窓を少し大きく開けると、換気ができるときがある（もちろん、できないときもある）。窓の開け方も工夫する。
      - ◇ 狭山市の小中学校では、「換気機能付き空調設備（ロスナイ）」が全校に設置されているので、作動中は窓の開放はなくても大丈夫である。ただし、休み時間等は、窓を開けて空気の入替えをお願いする。
  - ② 多くの人が密集する場所をつくらない
    - 手の届く距離に多くの人がいないよう身体的距離を確保する。
  - ③ 近距離での会話や発声等の場面をつくらない
    - 対面での活動や少人数での話し合い等、近距離で活動する密接場面を作らないよう工夫する。
- 換気をすれば十分な感染予防ができるということではないため、あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底にご留意ください。**

### <休み時間・放課後>

- 教室・廊下等の窓を開放し、換気に努める。
- 手洗い、うがいの呼びかけを行う。
- 終業後は、速やかに下校させる。
- 部活動は、当面実施しない。

### <清掃>

- 児童生徒の清掃は必要最低限の場所とし、可能な限り窓を開け、十分に換気しながら行わせる。密閉空間になる場所の清掃は行わせない。
- トイレについては、児童生徒が清掃することは差し支えない。ただし、体調不良者が使用したトイレは児童生徒には清掃させない。

児童生徒、教職員がトイレ清掃をする際には、以下のことに配慮して行う。

- ・ 必ずマスク、清掃用ゴム手袋を着用する。
- ・ モップ等を活用し、短時間で効率よく行う。
- ・ 薄めた漂白剤等を使用するのは、教職員とし、うすめた漂白剤で拭く、または流した後、水拭きを行うと、消毒ができる。ただし、水拭きをしないと、金属部分のさびの原因になるため、注意して行う。
- ・ ゴム手袋はうすめた漂白剤で表面を拭き、水洗いをしてから干す。
- ・ 界面活性剤入りの食器洗い用洗剤等には、消毒効果があることが確認されているので、使用をお勧めする。

<注意> **うすめた漂白剤**を吸い込むと、気管の炎症の原因になります。うすめた漂白剤は、絶対に霧吹き等で噴霧しないでください。

- 手洗い場等の清掃を行う際、学校で用意した手袋を着用させて行わせる。
- 清掃時はマスクを着用させ、短時間で行うよう工夫する。
- 終了後は、石けんによる手洗いと、うがいを徹底させる。
- ◆ 学校の洗濯機を積極的に使用する。消毒に使用したぞうきん等は、塩素系漂白剤につけたあと、洗濯機で脱水→すすぎを行う事も可能である。また、通常の洗濯でも除菌対策として有効である。

### <消毒>

- 登校時、トイレから出た後、給食の前など、手洗いの後、可能な範囲で消毒を行うよう声かけをする。
- 1日に数回、ドアノブや窓のさん、階段の手すりなどに消毒液をスプレーし、きれいなぞうきん等でふきとって消毒を行う。分担を決めておくと良い。
- 消毒で使用したぞうきん等は、薄めた漂白剤に20分程度浸した後、十分に水洗いをするか、洗剤を使って洗濯してから干し、つねに清潔な状態を保つようにする。消毒用に薄手のものを複数枚準備しておく。

### <参考>

<https://family.saraya.com/tearai/images/kodomo.pdf>（さあ、みんなで手をあらおう）

<https://oshiete-dr.net/2020/04/02/post-500/>（新型コロナウイルス上げき退作戦！）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000189346.pdf>

（咳エチケット）

<https://youtu.be/IxhzIBQIugs>（クリアファイルでつくるフェイスシールド動画）

<https://a-style55.co.jp/faceshield.pdf>（クリアファイルでつくるフェイスシールド型紙）